

令和4年度 大阪府立牧野高等学校 第1回学校運営協議会 議事録

日 時 令和4年7月7日(木) 15:30~16:30

場 所 大阪府立牧野高等学校 校長室

出席者(敬称略)

協議会委員 松宮 新吾(会長)、福原 哲晃、尾崎 順子、田中 博
藍原 雅代、有堀 正彦(副会長)(欠席)
学校長 高松 智
事務局 田中 眞、石田 暁、大塚 正宣、中務 正和

1、開会

①会長副会長の決定

*事務局案 会 長 松宮 新吾 委員
副会長 有堀 正彦 委員

⇒ 承認

② 会長挨拶

皆さまこんにちは。この度牧野高等学校学校運営協議会の会長を引き受けました。随分と長く牧野高校の教育に携わらせていただいていることを誇りに思っております。しっかりとした教育成果を上げており、これは委員の皆さまそれぞれのお立場での建設的なご意見をいただき、うまく機能しているからだと思う。今回新たに配られたパンフレットの上部に「Educational policy」と書かれているが、今回府の方からは「スクールミッション」の作成が求められていると聞いている。学校教育活動をさらに発展させ、魅力のある牧高作りをお願いしたい。昨年度の入学者選抜では1.16倍の倍率と健闘されている。学校運営協議会の委員の皆さまから今まで以上に建設的な意見を頂戴し、牧高の発展に微力ながら尽力したい。どうぞよろしく願いいたします。

③ 校長挨拶

4月に本校に校長として着任いたしました高松でございます。本日はお忙しいところ、本校の学校運営協議会へご参加いただき、誠にありがとうございます。

先ほど会長から「スクールミッション」の話が出ましたが、第2回の学校運営協議会でお示ししたいと考えております。

新型コロナウイルス感染症の影響で、ここ2年間は生徒たちに我慢を強いることが多くありましたが、今年度は保護者の皆さまには入場者数の制限を設けるなど依然、協力や願いをすることもありましたが、概ね学校行事を実施することが出来ており、近年のことをお聞きしていると本当に嬉しく思っております。

昨年度この協議会において福原委員にご提案いただいた法教育について「大阪弁護士会」のご協力で弁護士の方を派遣いただき「法教育授業」を実施していただくことと

なりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございます。

限られた時間ではございますが、忌憚のないご意見を頂戴し、今後の学校運営に活かしたいと考えております。皆様よろしくお願いたします。

2、令和3年度学校経営計画及び学校評価について・・・学校長より説明

- 会長・・・時間外勤務が増加しているが実態を把握されていることがあれば。
- 校長・・・一昨年度はコロナ禍の影響で4～6月の休校や部活動禁止時期があったが、昨年度はそういったことがなく時間外が増加したと考えている。

3、令和4年度学校経営計画について・・・学校長より説明

- 委員・・・国公立の進学率としてはどのように考えられているか。
- 校長・・・昨年度の入試に関して、ここ数年のうちでは、多くの生徒が国公立に進学してくれたと感じているが、満足することなく、さらに増やしていきたい。
- 会長・・・以前と比べて私立大学が努力をしているため、魅力ある学校が分散化している。もちろん大阪公立大学を含め国公立大学も努力をしているが、生徒にとって魅力があるということが大きな点である。進学実績を見て良く健闘していると感じる。大学入試の5教科型は負荷がかかる。最後まで複数の教科を頑張れる生徒を育成することが大切。
- 委員・・・現役生徒を3年間でそこまで育てるのは大変。
- 校長・・・私としては幅広く勉強した方が、将来に学習した知識や教養は活かせると思っている。
- 会長・・・リベラルアーツという考え方であり、生きていく上での基盤となるもの。偏った教科を学習するのではなく、学習する機会を活かせるような仕組みづくりをしていただければ。
- 会長・・・目標設定の表現を工夫されている。既に上限に達したものについては「維持する」との表現や「めざす」と表記があったものが数値で具体化されるなど。
- 委員・・・本校を既に卒業した姉の時と比べると夏休みの講習に力を入れてくれていると感じる。
- 委員・・・どの時期から大学に向けての勉強を始めるのか。
- 校長・・・1年生の時から日々の予習復習をしっかりやるように生徒にも保護者にも伝えている。30分でもいいから毎日机に向かい、まずは勉強の習慣をつけさせることが大切だと考える。2・3年生になった時にシフトしやすい。

⇒ 承認

4、令和5年度教科書採択事務について・・・教頭より説明

⇒ 承認

5、第44期生（令和4年度3月卒）進路結果・・・進路部長（中務首席）より説明

- 委員・・・理系の生徒の数は？
- 事務局・・・例年おおよそ2クラス弱程度。

6、協議

- 委員・・・目標を数値化しておられて分かり易い。先生方も生徒の皆さんも達成すれば満足感が得られる。数値目標はどの学校も挙げているのか。
- 校長・・・数値目標を上げることが府の方から推奨されている。
- 会長・・・項目によっては、これ以上上がらないので第一評価にシフトチェンジをした方が良い。
- 会長・・・今年度の1年生から「観点別評価」が導入され、先生方は工夫されていると思うが。
- 事務局・・・職員室を見ていると、初めての試みということもあり、評価一つを取っても、議論を重ねている。前向きに話し合っていることが多いように感じている。
- 会長・・・今までと枠組みが変わってきているのでご苦労されていると思う。
- 委員・・・「維持する」という表現。同じ指標で評価する際に表現の仕方が難しい。大切などころを下げないという見方が出来るこの表現は良い。参考にさせていただく。国公立大学の受験にむけて、私学の子を引っ張っていくことをされている。昔と比べて私学のアピールが大きく、魅力を発信している。国公立の魅力である学費の差においても小さくなっている。そういう事を踏まえながら、国公立にトライされていることが凄い。国公立大学の魅力と、5教科で幅広い学力を求めたいという柱を伝えてもらいたい。

7、連絡

第2回の協議会は12月上旬、第3回の協議会は2月上旬で予定。

⇒ 了承

8、閉会

学校長よりお礼